

# Kepul

# インパクトレポート 2024 (ショートバージョン)

**kepul**  
#JualSampahJadiMudah

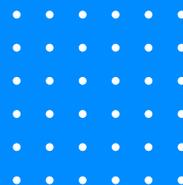




## 免責事項

本インパクトレポートに記載されている情報およびデータは、すべて当該企業が所有・提供するものです。ANGINおよびJICAは、データの正確性を確保するよう努めておりますが、本レポートに記載された情報およびデータの正確性、完全性、信頼性、有効性について一切の所有権および責任を負うものではありません。

本レポートの情報に基づいて意思決定や行動を取る際は、読者自身の責任において情報およびデータの正確性を確認してください。



## JICAからのメッセージ



独立行政法人国際協力機構（JICA）は、日本政府の政府開発援助（ODA）の実施機関であり、1960年代よりインドネシアと長年にわたる協力関係を築いてきました。これまでに、インドネシアの社会経済発展を支援するため、多様なプロジェクトを実施しており、中央政府・地方政府、NGO、学術機関、民間企業を含むインドネシアおよび日本のさまざまな組織と連携しています。

「NINJA (Next Innovation with Japan)」プロジェクトは、JICAが推進する重要な取り組みの一つです。ご存じのとおり、スタートアップは革新を通じて社会課題の解決に大きな影響を与えています。JICAはスタートアップを重要なパートナーと位置づけており、その支援の一環として、NINJAはまずアフリカで開始されました。アフリカでの成功を受け、その対象は世界各地へと拡大し、NINJAインドネシアは2021年に開始され、今年で4年目を迎えます。

2024年は、「グリーントランスフォーメーション」「自然環境と保全」「持続可能な水資源の確保・管理」など、環境負荷の低減とカーボンニュートラルの実現を重視した分野に焦点を当てました。これは、JICAがインドネシアの豊かな自然環境を保護し、気候変動に対する「緩和」と「適応」策を講じながら、その有効活用を促進することが不可欠であると考えているためです。最終的に、264の応募企業の中から、Automa Supply Chain、Kepul、Parongpong RAW Labの3社が特別なパートナーとして選出されました。

本インパクトレポートは、2024年のJICA NINJAインドネシアプロジェクトの一環として作成されており、選ばれたスタートアップが社会にどのような影響を与えるのかを示すものです。

本レポートが、読者の皆様にこれらのスタートアップについての理解を深める機会となり、より多くのパートナーが社会的インパクトの創出と拡大に向けて共に取り組むきっかけとなることを願っています。

## 創業者 メッセージ



### R. Satrio Budoyo

ブランディング責任者

### Dendy Herlambang

デザイン責任者

### Abdul Latif Wahid Nasution

CEO

廃棄物は単なる問題ではなく、新たな可能性です。Kepulは、すべての廃棄物には価値があり、適切に活用されることで持続可能な未来の実現に貢献できると考えています。私たちの旅は、インドネシアにおける廃棄物の捉え方と管理方法を根本から変革するという、シンプルかつ力強いビジョンから始まりました。

インドネシアでは年間数千万トンの廃棄物が排出され、そのうち4,500万トンがリサイクル可能です。私たちはこれを課題ではなく、変革の大きな機会と捉えています。Kepulは、インドネシアの廃棄物管理システムに革命をもたらす必要があるという信念のもと設立されました。そのアプローチとは、地域社会をエンパワーし、経済的な機会を創出し、環境を保護することです。

私たちの使命は、単なる廃棄物回収にとどまりません。\*\*「ごみを価値へと変え、雇用を創出し、すべての人々に利益をもたらす循環型経済を構築すること」\*\*を目指しています。回収した1トンの廃棄物、創出した1つの雇用、立ち上げた1つの革新的なプログラム—それらすべてが、よりクリーンで持続可能なインドネシアの実現に向けた一歩となります。



# 案件

## インドネシアの廃棄物管理

インドネシアは深刻な廃棄物管理の課題に直面しており、2023年の年間廃棄物発生量は約7,000万トンに達しました。これは、国民1人あたり1日700グラムの廃棄物を排出している計算になります。特に問題となっているのは、廃棄物の76.3%が未分別のまま処理されていることです。その結果、本来リサイクル可能なプラスチック、紙、その他の貴重な資源が適切に回収されず、廃棄されています。実際には、廃棄物全体の48%がリサイクル可能であるにもかかわらず、1,130万トン(35.67%)が適切に管理されておらず、環境および社会に深刻な影響を与えています。

特にプラスチック廃棄物は、最も緊急性の高い問題の一つです。インドネシアでは年間1,200万トンのプラスチック廃棄物が発生し、これは総廃棄物量の15%を占めています。インドネシアは中国に次ぐ世界第2位のプラスチック廃棄物排出国であり、2022年には1,254万トンのプラスチック廃棄物が発生しました。その多くは食品・飲料の包装、買い物袋、その他の消費財から排出されています。さらに、57%以上のプラスチック廃棄物が海へ流出し、インドネシアの海洋生態系に深刻な影響を及ぼしています。これらのデータは、持続可能な廃棄物管理ソリューションの緊急性を強く示しています。

### インドネシアの廃棄物管理を妨げる要因



廃棄物の排出量の多さ



非公式な廃棄物回収業者にとっての経済的障壁



適切な分別の欠如



市民の意識・参加の低さ



廃棄物管理インフラの不足



インドネシアの廃棄物管理の問題は非常に広範であるため、Kepulは社会全体が協力して取り組むべき課題であると考えています。特に市民参加の促進に重点を置き、循環型経済の推進に向けて以下の課題に取り組んでいます。

## 01

廃棄物管理への広範な参加を促進するためのデジタルインフラの不足

## 02

リサイクル活動への市民参加の低さと、そのメリットに対する認識不足

## 03

インフォーマルな廃棄物回収業者に対する経済的機会の欠如

# 課題

## 市民参加の重要性

インドネシアにおける廃棄物管理の課題を解決するには、社会全体の積極的な参加が不可欠です。年間数千万トンにも及ぶ廃棄物を効果的に管理するためには、消費者が適切な廃棄物処理を実践し、地域社会が持続可能な習慣を定着させ、民間企業がリサイクルや廃棄物処理技術を革新し、政府が適切な政策やインフラを整備することが求められます。こうした包括的な協力体制を構築することで、廃棄物管理の効果性、持続可能性、拡張性が向上し、より持続可能な社会の実現につながります。

### 01

#### 廃棄物回収率とリサイクル率の向上

市民が積極的に廃棄物の分別やリサイクルに参加することで、資源回収率が最大化され、埋立地に送られる廃棄物の量が削減されます。インドネシアでは48%の廃棄物がリサイクル可能とされていますが、市民の積極的な関与により、この潜在能力を最大限に活用し、廃棄物を適切に処理することができます。

### 02

#### 循環型経済の促進

市民参加は長期的な行動変容を促し、循環型経済の実現に貢献します。循環型経済が機能するためには、個人が廃棄物の削減・再利用・リサイクルに取り組むことが不可欠です。市民の参加がこの変革を推進し、資源の有効活用と持続可能な利用を実現します。

### 03

#### インドネシアの非公式廃棄物回収業者の支援

廃棄物の分別や適切な処理に市民が積極的に参加することで、非公式な廃棄物回収業者にとってより質の高いリサイクル資源の確保が可能となります。これにより、収入向上や労働環境の改善につながり、尊厳のある雇用の創出が期待されます。

## 廃棄物問題を新たな機会へ

### rリサイクルできる廃棄物

インドネシアには3,000万トン以上の販売可能なリサイクル資源が存在

### リサイクル廃棄物の価値

リサイクル可能な廃棄物  
1kgあたりの粗利益 =  
1,000 IDR

### 廃棄物を価値ある資源へ

インドネシアにおけるリサイクル可能な廃棄物の経済規模は、30兆IDR(約200億米ドル)以上の可能性

# Kepulについて

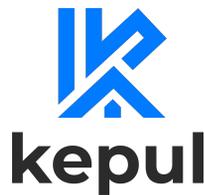
Kepulは、リサイクルと廃棄物回収の普及を促進するデジタルソリューションに特化した先駆的な廃棄物管理企業です。消費者や企業を廃棄物の供給者として広範な廃棄物回収ネットワークとつなぎ、リサイクルの仕組みをより広く普及させることを目指しています。Kepulは総合的な廃棄物管理プラットフォームを運営しており、簡単な廃棄物取引、透明性の高い価格設定、効率的な回収プロセスを実現しています。テクノロジーと革新的なアプローチを活用することで、リサイクルを誰にとっても身近で、収益性が高く、利便性のあるものへと変革しています。

私たちは、インドネシアの廃棄物管理のあり方を根本から変革することを目指しています。2020年10月1日の設立以来、Kepulは小規模なスタートアップから、インドネシアのリサイクル・廃棄物管理エコシステムにおける重要な存在へと急速に成長しました。私たちのビジネスモデルの核は、廃棄物から価値を創出し、環境問題に対応しながら経済的な機会を生み出すソリューションを提供することにあります。

Kepulでは、効果的な廃棄物管理には、環境の持続可能性と社会的エンパワーメントのバランスが不可欠であると考えています。私たちは、環境負荷を低減し、循環型経済の実現を促進することを使命としています。また、テクノロジーとデータ活用を通じた革新を推進し、廃棄物の回収・分別・リサイクルのプロセスを向上させることで、より効率的でアクセスしやすい廃棄物管理システムの構築に取り組んでいます。

私たちは、廃棄物回収業者や地域の起業家を正式なシステムに統合することで、経済的な機会を創出し、社会的エンパワーメントを促進しています。さらに、透明性のある運営を徹底することで、ユーザーから廃棄物回収業者まで、すべての関係者が公平で明確な価格体系のもと、安心して取引できる環境を提供し、信頼と責任を築いています。何よりも、強い社会的責任の意識を持ち、地域社会を支える廃棄物管理の仕組みを構築することに尽力しています。これには、教育の提供、雇用の創出、持続可能性に向けた包括的な参加の促進が含まれます。

こうした価値観を大切にすることで、Kepulは廃棄物管理を「環境再生」と「社会変革」を両立する新たな仕組みへと再定義しています。



## 私たちの目標

- 効率的で収益性が高く、環境的に持続可能な廃棄物管理システムを構築し、廃棄物を価値ある資源へと変革することで、インドネシアの廃棄物管理を革新する。
- 地域社会をエンパワーメントし、環境保全への市民参加を加速させる。

## 私たちの望み

インドネシアにおける持続可能な廃棄物管理プラットフォームのリーディングカンパニーとなり、廃棄物を価値ある資源へと変え、環境を保護し、すべてのステークホルダーに経済的価値を生み出す循環型経済を創出する。

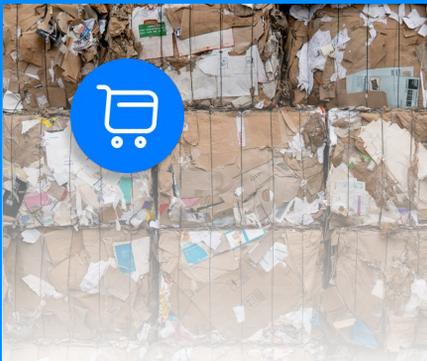
## コアバリュー

-  サステナビリティ
-  イノベーション
-  エンパワーメント
-  トランスパレンシー
-  社会的責任

# ソリューション

Kepulは、テクノロジーを活用してインドネシアのリサイクルおよび廃棄物回収のあり方に革新をもたらす廃棄物管理企業です。事業の中心にはモバイルアプリがあり、家庭、企業、廃棄物回収業者をつなぎ、リサイクルプロセスを効率化します。

Kepulのアプリを利用することで、ユーザーはリサイクル可能な廃棄物の回収を簡単に予約できます。アプリのGPSナビゲーションシステムを活用し、最寄りの廃棄物回収業者を検索することが可能です。登録された回収ネットワークの業者が直接家庭を訪問し、廃棄物を回収します。取引完了後、回収された廃棄物の対価はユーザーの銀行口座に直接送金されるため、スムーズで利便性の高い取引を実現します。



## 消費者

持続可能な習慣へのアクセスを容易に

### 便利な廃棄物処理

- 直感的なモバイルアプリとWebプラットフォームにより、廃棄物の販売、追跡、決済を簡単に実施可能
- ユーザーは自宅から廃棄物の回収をスケジュールでき、利便性を最大化

### 持続可能な行動を促進するインセンティブ

- Kepulは、適正な価格設定により、廃棄物の分別・回収を促進
- 「Kepulポイント」プログラムを導入し、リサイクル活動に応じた報酬を提供
- リサイクルの経済的メリットを高めることで、地域社会の積極的な参加を促進

## デジタルインフラを活用した統合型廃棄物管理

当社のデジタルインフラは、廃棄物管理のバリューチェーンを最適化し、効率性と追跡性を向上させます。

- シームレスな廃棄物回収・分別プロセスを構築し、リサイクル可能な廃棄物を適切な処理施設へと効率的に運送
- 研究開発に積極的に投資し、廃棄物管理のソリューションを継続的に改善



## 廃棄物回収業者

経済的支援と能力向上を両立

### 経済的エンパワーメント

- フォーマル・インフォーマルの廃棄物回収業者を体系化されたシステムに統合
- 適正な価格設定と安定した収入機会を提供
- 雇用の質を向上させ、持続可能な就業環境を確立

### 効率性向上とトレーニング

- GPS最適化による効率的な回収ルートを提供で時間・燃料消費を削減
- スキル向上を目的としたトレーニングを提供し、廃棄物管理システム内での業務効率を強化

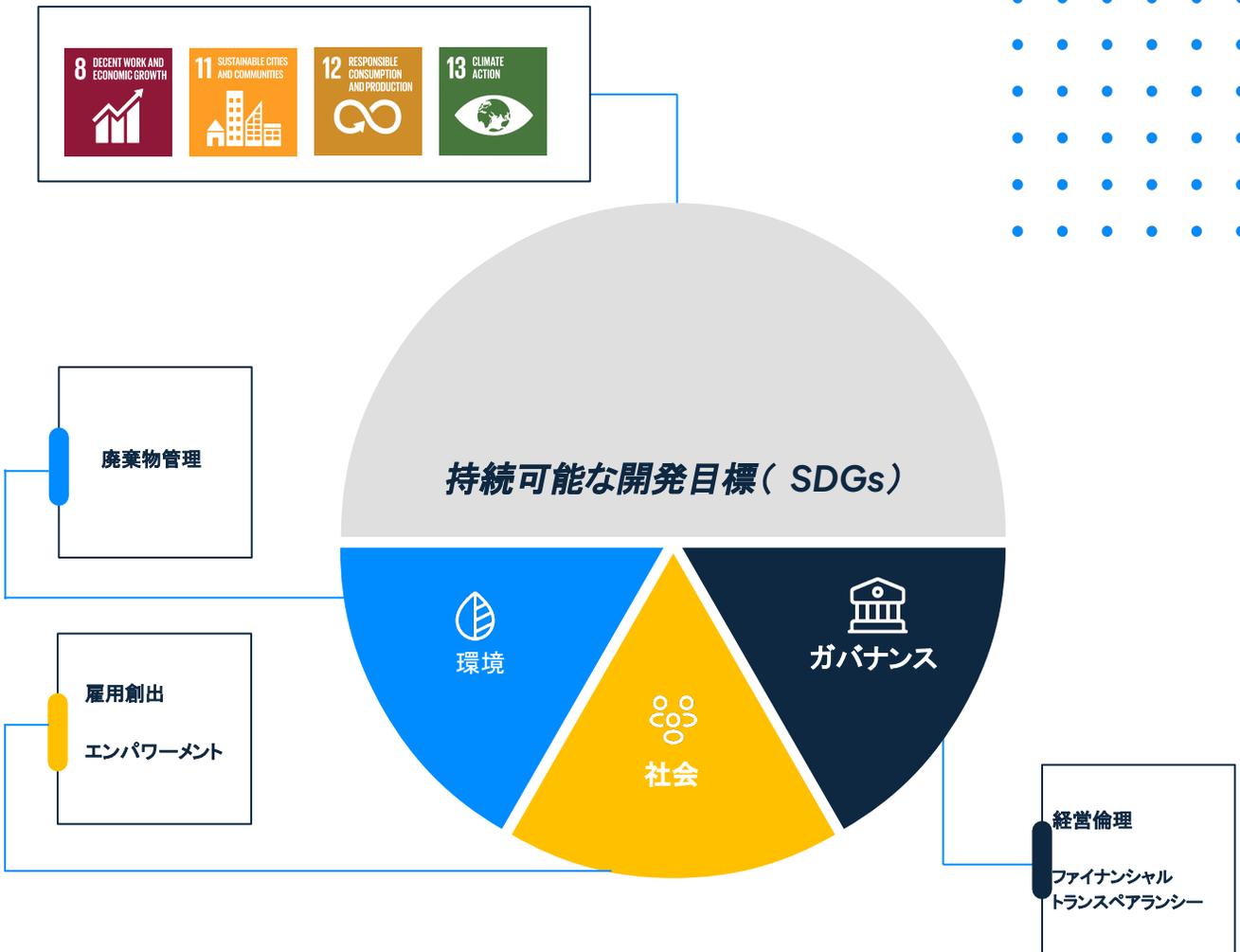


## インパクト & ESG

本セクションでは、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する企業活動の改善に向けたインパクトの進捗状況および持続可能性に関する取り組みを開示します。私たちの取り組みは、自社の成長だけでなく、環境、地域社会、そしてすべてのステークホルダーにとってプラスの変化をもたらすことを目的としています。



# インパクトサマリー



インドネシアでは持続可能な取り組みが進められているものの、膨大な廃棄物の量は依然として深刻な課題となっています。しかし、世界有数の人口規模を誇るインドネシアは、廃棄物問題を解決する大きな可能性も秘めています。その鍵となるのが、社会全体の積極的な参加です。家庭から企業まで、あらゆる層が廃棄物の分別・回収・リサイクルに取り組むことで、廃棄物は環境負荷ではなく価値ある資源へと生まれ変わります。

Kepullは、個人と廃棄物管理のソリューションをつなぐ架け橋として、分別・回収・持続可能な取り組みを誰もが容易に実践できる環境を提供しています。廃棄物管理を社会全体の協力による取り組みへと変革することで、循環型経済の促進とグリーンなインドネシアの実現を目指しています。

また、持続可能で強固な廃棄物管理システムを構築するには、その中心的役割を担う廃棄物回収業者、特に非公式セクターの労働者を支援することが不可欠です。彼らは歴史的に過小評価され、不安定な労働環境のもとで働いてきましたが、インドネシアのリサイクル推進において極めて重要な存在です。Kepullは、廃棄物回収を尊厳のある持続可能な雇用へと変革することで、インドネシアのリサイクルインフラを強化し、廃棄物を単なる環境問題ではなく経済的な機会へと転換します。

私たちはこの取り組みを通じて、持続可能な開発目標 (SDGs) に沿った社会的インパクトを創出することにコミットしています。さらに、包括的な影響をもたらすために、自社においても ESG (環境・社会・ガバナンス) のベストプラクティスを実践し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

# インパクトターゲット

Kepulは、誰もが利用しやすく収益性の高いデジタル廃棄物管理ソリューションを通じて、インドネシアに強固な廃棄物管理システムを構築することを目指しています。私たちは、廃棄物による環境負荷（汚染や温室効果ガスの排出を含む）に取り組むと同時に、社会的・経済的側面も同等に重視しています。最終的には、持続可能な廃棄物管理が社会の日常の一部となる「循環型経済」の実現を目指しています。

## メインインパクトターゲット 環境

私たちの最優先目標は、廃棄物管理の不備による環境問題を軽減することです。年間の廃棄物回収量を増やし、リサイクル活動を促進することで、インドネシアにおける 1,130万トンの未処理廃棄物を大幅に削減することを目指しています。特に、プラスチックの海洋流出防止、埋立地への依存低減、廃棄物由来の温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。Kepulのソリューションは、インドネシアの膨大な廃棄物量に対応できる拡張性のある管理システムの構築を目指し、最終的には廃棄物を資源として循環させる持続可能な経済システムの実現を目標としています。



セカンダリーインパクトターゲット

# インドネシアの社会全体

持続可能な未来の実現には社会全体の協力が不可欠です。そのため、Kepulはさまざまなステークホルダーを巻き込み、彼らの能力向上を支援しながら、より大きな社会的インパクトを創出することを目指しています。

## 廃棄物回収業者

Kepulは、特に非公式セクターの廃棄物回収業者のエンパワーメントに取り組んでいます。適正な価格設定、トレーニング、尊厳のある雇用機会を提供することで、彼らの役割を正式な廃棄物管理システムの一部として確立し、安定した収入と労働環境の改善を実現します。また、Kepulのシステムに回収業者を統合することで、廃棄物回収の拡大を促進し、経済成長と社会的包摂（インクルージョン）を推進します。



## 消費者

市民の参加は、持続可能な廃棄物管理を定着させるために不可欠です。Kepulのソリューションは、廃棄物の分別・回収にインセンティブを提供し、廃棄物が価値ある資源となることを広く認識させることを目的としています。また、さまざまなプログラムを通じて消費者の教育とエンパワーメントにも取り組んでいます。

- 「Waste Free Schools」: 生徒や教師に持続可能な廃棄物管理の実践を学ぶ機会を提供
- 「Medical Checkup」: リサイクル資源を提供することで医療サービスを受けられる仕組み
- その他のプログラムを通じて、社会全体が持続可能な行動を実践し、環境保全に主体的に関与できるよう支援



## ビジネス

Kepulは企業と連携し、持続可能な廃棄物管理の導入を支援しています。企業がリサイクルプログラムを導入し、廃棄物排出量を削減できるようサポートし、廃棄物の価値化（waste-to-value）ソリューションを提供することで、企業のコスト削減、業務効率の向上、持続可能性目標の達成を支援します。Kepulは数千社におよぶB2Bクライアントとのパートナーシップを通じて、企業が循環型経済の実現に貢献し、環境負荷の軽減に主体的な役割を果たすことを推進しています。



# インパクト フレームワーク

Kepulは、デジタルソリューションを活用し、市民のリサイクルへの参加を促進する廃棄物管理企業です。私たちは、持続可能な行動の定着を加速させ、インドネシアにおける廃棄物問題を解決し、環境保全を推進することを目指しています。

また、Kepulは持続可能な開発目標（SDGs）をインパクトフレームワークに組み込み、廃棄物を価値へと転換し、経済的利益を生み出す循環型経済の構築というビジョンを形成・推進・発信しています。

目標	ターゲット	取り組み
 <p>8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH</p>	<p>8.3 生産活動、適正な雇用創出、起業、創造性、イノベーションを支援する開発志向の政策を推進し、金融サービスへのアクセスを通じて零細・中小企業の正式な事業化と成長を促進する。</p>	<p><b>雇用機会の創出</b></p> <p>Kepulの事業は、直接雇用の創出に加え、廃棄物回収業者、リサイクル業者、小規模事業者との連携を通じた間接的な雇用機会の提供を実現しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定した収入を確保し、廃棄物回収業者の雇用を正式な職業として確立</li> <li>スキル向上を支援し、持続可能な廃棄物管理エコシステムにおける適正な雇用創出を促進</li> </ul>
 <p>11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES</p>	<p>11.3 2030年までに、包摂的で持続可能な都市化を推進し、市民参加型の統合的かつ持続可能な都市・居住環境の計画・管理能力を強化する。</p> <p>11.6 2030年までに、都市の一人当たりの環境負荷を削減し、大気質や都市廃棄物管理などに特に重点を置いた対策を推進する。</p>	<p><b>持続可能な廃棄物管理への市民参加を容易にするデジタルインフラ</b></p> <p>Kepulの廃棄物管理ソリューションは、廃棄物削減、リサイクルの推進、清潔で衛生的な都市環境の整備を通じて、都市と地域社会の持続可能性を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モバイルアプリを活用し、都市部のライフスタイルに適したデジタル廃棄物管理を実現</li> <li>持続可能な行動を日常生活にシームレスに統合し、利便性を高める</li> <li>広範なアクセスと市民参加を促進し、強固な廃棄物計画・管理体制を持つ持続可能な都市づくりを推進</li> </ul>

## 目標

## ターゲット

## 取り組み



12.4 2020年までに、国際的な枠組みに基づき、化学物質および廃棄物のライフサイクル全体にわたる環境上適正な管理を実現し、大気・水・土壌への排出を大幅に削減することで、人の健康や環境への悪影響を最小限に抑える。

12.8 2030年までに、持続可能な開発と自然と調和したライフスタイルに関する適切な情報と認識を、すべての人々が得られるようにする。

#### 循環型経済を核とした事業モデル

Kepulの事業モデルの中心には、循環型経済の原則が据えられています。私たちは、廃棄物を価値ある資源へと転換し、埋立処分を削減するとともに、リサイクルの促進を行っています。

- 家庭から大規模企業まで、すべての主体が廃棄物の分別・回収に参加できる仕組みを提供
- 消費と生産の全プロセスに持続可能な取り組みを拡大

最終的に、誰もがアクセスしやすく、便利で収益性のある廃棄物管理を通じて、循環型経済の実現を目指しています。

#### コミュニティエンゲージメント

廃棄物に対する社会の意識を変革するには、直接的な関与と教育が不可欠です。

- 「Waste-Free Schools」プログラムを通じて、生徒や教師に適切な廃棄物管理を指導し、持続可能な習慣を日常生活に根付かせる
- インセンティブを活用したプログラムにより、リサイクルが実際に利益を生み出すことを示し、より多くの人々の参加を促進

Kepulのモバイルアプリを活用したソリューションに加え、こうした地域社会向けプログラムを同様に重視し、持続可能な習慣を社会全体に統合していきます。これにより、廃棄物管理を身近で魅力的な取り組みに変え、地域社会の一員としての参加を促します。



13.1 気候変動に関連するリスクや自然災害に対するレジリエンス（回復力）と適応能力を強化する。

#### 廃棄物管理による排出量削減

Kepulの廃棄物管理の取り組みは、埋立処分を削減し、メタンガスの排出を抑制することで、炭素排出量の削減に貢献しています。また、リサイクルの促進を通じて、新規原材料の生産に伴うエネルギー消費を大幅に削減し、持続可能な環境の実現を支えます。

# インパクト指標

01

## メイン指標

環境

### 4,700トン

4年間で埋立地への廃棄を回避し  
たリサイクル廃棄物の総量

### 14,000トン

4年間で埋立地への廃棄を削減することで防止さ  
れたCO2排出量

### 10%

廃棄物回収量の増加率

### 10%

防止されたCO2排出量の増  
加率

### 60種類

処理された廃棄物の  
種類数

### 1,500トン

回収・リサイクルされたプラスチック廃棄物  
の総量

### 1,200トン

回収・リサイクルされた使用済み  
食用油の総量

# インパクト指標

02

## セカンダリー指標

Waste collectors

**100名**

Kepulネットワークに所属する廃棄物回収業者の数

**20%**

Kepulの廃棄物回収ネットワークの拡大率

**50%**

Kepulネットワークにおける廃棄物回収業者の収入増加率

03

## 消費者・ビジネス

**70,000+**

Kepulの登録ユーザー数

**8,600+**

Kepulと提携するB2Bパートナー数

**10,000+**

2024年に社会・環境プログラムの恩恵を受けた地域住民数

**100+**

廃棄物ゼロプログラムを共同実施した学校数



# ESG

私たちは、環境、社会、ガバナンス(ESG)の取り組みが、事業および私たちが活動する地域社会に与える影響の重要性を認識しています。本レポートでは、当社の ESGパフォーマンスの概要を示すとともに、特に社会的指標に焦点を当てた取り組みを紹介いたします。

## 現在の取り組み

	<p><b>01</b> 環境</p>	<p>廃棄物分別エコシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 有機廃棄物と無機廃棄物の分別</li> <li>● 有機廃棄物を動物飼料や肥料へと再利用</li> <li>● リサイクル可能な廃棄物を工場向けに販売するための準備</li> </ul>
	<p><b>02</b> 社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物回収業者の雇用創出とエンパワーメント</li> <li>● 地域社会向けのエンゲージメントプログラムの実施</li> <li>● Kepulアプリにおける公正かつ透明性のある価格設定</li> </ul>
	<p><b>03</b> ガバナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 透明性のあるビジネスモデルと明確な廃棄物価格体系の確立</li> <li>● 誠実な企業文化の醸成</li> <li>● 企業財務の合法性確保</li> </ul>

## ESGインパクトの拡大

	<p><b>01</b> 環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物回収の取り組みをさらに拡大</li> <li>● リサイクル処理能力の向上</li> <li>● より革新的なりサイクルプロセスの開発</li> </ul>
	<p><b>02</b> 社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域社会における経済的機会のさらなる創出</li> <li>● ドライバーおよび従業員向けの研修強化</li> </ul>
	<p><b>03</b> ガバナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業運営の透明性をより一層向上</li> <li>● 強固なデジタルインフラの導入</li> </ul>



# ESG



## ESG詳細 社会

Kepulの主要な目標は持続可能な廃棄物管理ですが、同時に社会的責任の遂行も極めて重要な要素であると考えています。



### 私たちの希望

#### 雇用創出

事業拡大を通じて1万件の新規雇用を創出し、経済成長を促進しながら適正な労働環境を提供

## 01 雇用創出とエンパワーメント

- 20名以上のドライバーに安定した尊厳のある雇用を提供（多くは元非公式廃棄物回収業者）
- 非公式廃棄物回収業者の役割を正式な職業として確立し、労働環境を改善することで、事業の重要な柱として再定義

## 02 コミュニティエンゲージメント

消費者はKepulの事業運営における重要なステークホルダーです。そのため、Kepulでは透明性の高い価格設定を維持し、アプリ内で定期的に廃棄物ごとの価格を更新することで、公正な取引を実現しています。さらに、インセンティブを活用した地域社会向けプログラムを通じて、持続可能な行動を促進しながら社会に貢献しています。

- ゴミで健康診断  
リサイクル可能な廃棄物と引き換えに医療サービスを提供
- ゴミでウムラ（イスラム教徒がサウジアラビアのメッカで行う巡礼）  
廃棄物回収を通じて宗教巡礼（ウムラ）への資金調達を支援
- ゴミで生活必需品を購入  
リサイクル資源を交換することで生活必需品の入手を支援
- ゴミで金を貯蓄  
廃棄物を活用し、金投資を通じた貯蓄を支援



**Kepul**  
**インパクトレポート 2024**  
完全版は2025年3月に公開予定